



こんにちは。トリプルアイズの白石です。
いつもお読みいただきありがとうございます。

関東も梅雨入りしましたね。

一日雨の日もあれば、ゲリラ豪雨もあり。折り畳み傘を携帯しておかなければ！ と思う日々です。

さて、今回は「エンジニアの付加価値を上げる最も確かなやり方とは？」「顔決済でお弁当購入！」「福原智追悼シンポジウム」などなど、盛りだくさんの内容でお届けします。ぜひご覧ください。

-----<目次>-----

1. エンジニアの付加価値を上げる最も確かなやり方とは？
2. トリプルニュース
3. 編集後記

1. エンジニアの付加価値を上げる最も確かなやり方とは？

自社のエンジニアの工数単価を上げたいと考えた時に、最も確実なのは、AI・データサイエンスに関する高度なスキルをエンジニアに身につけさせることです。

これは、エンジニア自身が報酬をアップさせたいと考えた時も同じです。

2021年3月時点での求人サイトの公開求人案件で比較すると、プログラマー求人案件の平均年収 **840万円** に対して、機械学習求人案件の平均年収は **984万円** でした（レバテックフリーランス調べ）。

フリーランスの年収なので、単純比較はできませんが、AIスキルを身につけたエンジニアの方が工数単価もアップするのは明らかです。

経済産業省の「IT人材需給に関する調査」によりますと、2030年時点でIT人材が **45万人から79万人不足**すると予測されています。

大手企業はすでに先端IT人材（ビッグデータ、IoT、AIを扱う人材）の青田刈りをはじめており、AI分野を学んだ新卒に対して破格の報酬を提示しています。中小企業が取り組むべきことは、自社のエンジニアにAIスキルを身につけさせるとともに、**AIの知識を持ちサービス設計ができるプロダクトマネージャーを育成**することです。

今後、AI 技術が縮小することは考えられません。AI マーケットが爆発的に広がっていくことで、そこに新たなビジネスチャンスも生まれます。AI エンジニアの需要は高く、引く手あまたの状態が今後も続くと考えられます。

トリプルアイズは、7 月より、AI エンジニア育成のための通信教育プログラム「AT20」のサービス提供を開始します。

トリプルアイズでは最先端技術（Advanced technology）に携わる社員の比率を 20%以上に引き上げるために独自の教育プログラムを実施しています。通信教育方式で毎週の課題をこなしながら実務で通用する AI エンジニアリングの技能を身に付けています。

以前より他社からお問い合わせをいただいていたこの教育プログラムを、教育サービスとして提供を開始いたします。



■習熟度に合わせて学習スケジュールを決められる4つのコース

- ・ 入門コース
- ・ Python 基礎コース
- ・ AI エンジニア初級コース
- ・ AI エンジニア中級コース

プログラム未経験者から AI エンジニアとして実践スキルを身につけたい人まで、ぴったりのカリキュラムです。

■「AT20」3つの特徴

- ① 最先端の知見を持つ AI プログラマーがサポーターに
- ② AI を体系的に学べるカリキュラム
- ③ 実務のために準備すべきスキルを取得

お問合せ先：Tel : 03-3526-2201 mail : contact@3-ize.jp

[詳細はこちら](#)

2. トリプルニュース

顔決済でお弁当が買える！ スマイルレジ、スタートしました。



AIZE の顔認証技術を用いてキューブシステム様と共同開発した顔決済システム「スマイルレジ」をトリプルアイズ本社に導入しました。購入者はタブレットに向かって“スマイル&ピース”でお弁当を購入することができます。

購入費は給与から天引きされる仕組みです。老若男女問わず浸透し始めているキャッシュレス。次世代のキャッシュレスはスマホも要らない顔認証ではないでしょうか？

福原智追悼シンポジウム



6月16日（水）、首都圏ソフトウェア協同組合（METSA）若手経営者会が、弊社創業者・福原智の追悼シンポジウムを開催しました。

シンポジウムでは安延申理事長、先日 IT 批評で特集させていただいた松原仁先生、最後に弊社代表取締役・山田それぞれの講演がありました。

福原の AI 開発への情熱、また今後 AI マーケットが爆発的に広がっていき、ビジネスチャンスが目にあるということ、それにチャレンジしていくことの大切さについて語られました。貴重な機会をご用意いただき、感謝の気持ちでいっぱいです。

トリプルアイズ、次のステージに向けて進んでまいります！

IT 批評

サイトオープンから 1 ヶ月が経ちました。SNS 等で取り上げられ、「これまでにない切り口」「硬派だけど面白い」と好評です。未見の方は一度のぞいてみてください！

今週は以下の記事を新たにアップいたします！

「データサイエンティストが変えるデータ後進国日本のビジネス——滋賀大学データサイエンス学部学部長・竹村彰通氏に聞く」

日本ではじめてデータサイエンス学部を創設した滋賀大学の試みについてお聞きしました。ぜひご一読を！

<https://it-hihyou.com/>

編集後記

今回もトリプルマガジンをお読みいただきありがとうございます。

2 連続で AT20 についてご紹介しました。ところで「AT20」これ、なんて読まれましたか？

答えは「エーティーにじゅう」です。数字だけ日本語読みなのが、「乃木坂 46」とは反対ですね。

それでは、次回のトリプルマガジンもお楽しみに！
